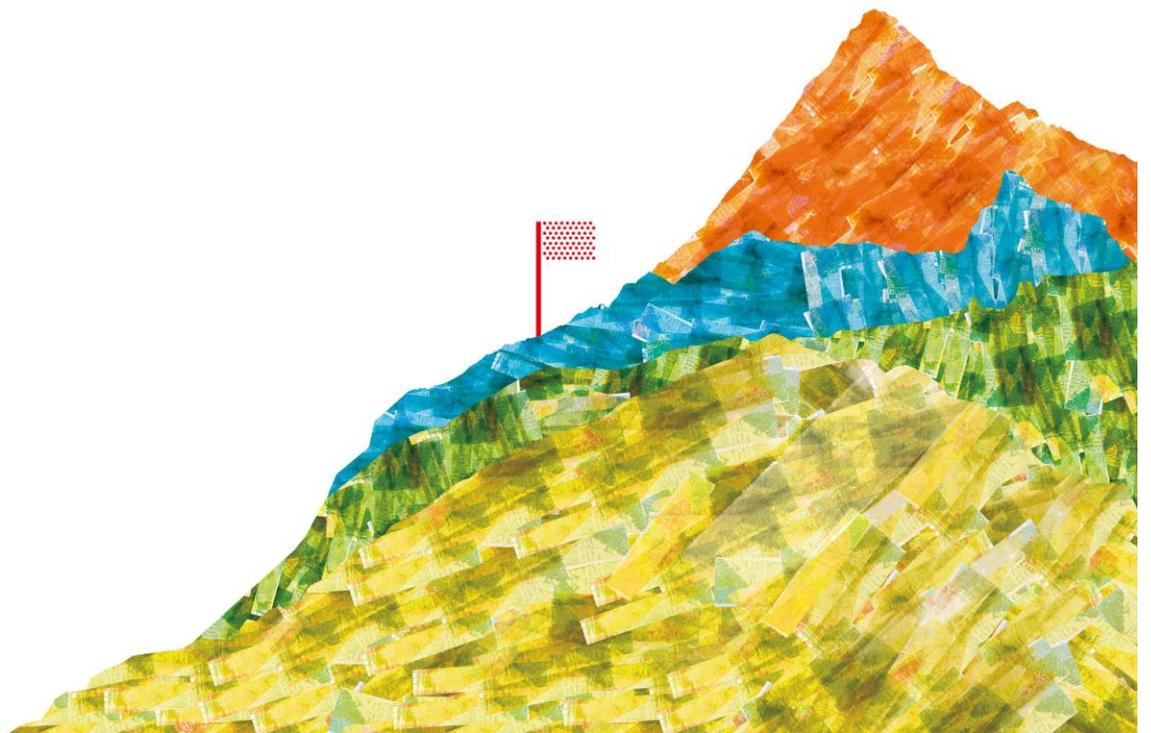


令和3年度 事業報告書

(西東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和3年度事業報告書（西東京エリア）

1 令和3年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 最も開設時期が若いエリアであるが、向原8年目、下落合5年目、上石神井特養も3年目を迎えた。介護事業においては昨年度の収支状況から改善したとは言え、予算未達であり今後一層の努力が必要である。厳しい運営状況の要因の一旦として新型コロナによる職員感染による業務縮小等があった。一連の収支改善プロジェクトによる効果は見えてきてはいるので、今後コロナ禍以降の対応について力を入れていきたい。
- 2) 保育事業においてもコロナの影響により一部サービスの休止を行ってきたが、安定した運営を図る事ができた。保育サービスについての評価も高く、視察機会などを得て広く周知する活動を行う事が出来た。
- 3) コロナ禍で多くの地域交流行事が中止されるなか、向原においては11月の「かけはし祭り」は成果をあげた。ながく行事参加が叶わなかった地域住民から多くの喜びの声をいただき、コロナ禍の地域貢献、地域連携という意味では重要な取組となった。また地域住民にも参加いただいた阿川佐和子氏講演会の実施など、催しを継続し次年度に繋げた事は大きな意味がある活動であった。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む）

- 1) 向原レストラン事業について、NPO法人ドリームタウンの運営が10月より開始となった。サ高住入居者はもとより、地域の方の認知度も上がり利用も増えてきている。併せて同場所においての就労継続支援B型の事業も開始となり、次年度に向けて体制も整いつつあり、地域の交流拠点としての機能を更に活かしていく予定である。
- 2) ICT機器の活用も順調に進み、ミモテ、眠りスキャンの活用を上石神井特養で実施。成果については研究発表会等で報告。コドモンの保育所運用も開始。また、ユマニチュード研修においてはエリア全体での取組を行い修了した。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

1) 経営の安定化

（向原住宅）年間14名の退去者が発生したが、待機者リストの更新・内覧会を頻繁に実施する等により概ね1ヶ月以内で新入居者に入れ替えることができ、稼働率98.9%を達成した。

経費削減面では、レストランの業務委託料の消失、駐車場のコインパーキング化を実現。

（向原DH）年間通しての登録者18名平均と予定を大きく下回った。営業活動の再開によるご利用者獲得が最優先である。

（向原訪問・定期巡回）定期巡回の年間中止者が19名となり、収支に大きな影響を受けた。

デイハウス同様利用者獲得に向け対応を行う。訪問事業については障がい対応の件数が増加した。

（下落合SS）年度前半は高い稼働率であったが、コロナ感染による影響を受け後半の稼働が下

がった。特に年明けからの影響は強く 60%台と大きく低迷し収支に影響を与える。感染状況の落ち着きに合わせ再度の前半稼働実績実施を目指していく。

(下落合 DH) 平均登録者数 24 名と昨年実績を上回った。継続して登録者数維持に努める。

(上石神井) 特養稼働率 96%、SS 稼働率 53%となる。特養については入院日数管理が今後の課題である。SS 稼働率も上昇したものの更なる安定稼働の実施に取り組む。

2) 地域に開かれた施設作り

コロナ禍で中止となった交流イベントもあったが、その中でも積極的な取り組みを行った。

- ・ 向原かけはし祭り
- ・ 阿川佐和子さん講演会「明るい介護」
- ・ 野菜マルシェ販売会・認知症カフェ等
- ・ 実習見学受入れ 延 463 名 ・ 地域ボランティア受入れ 延 109 名

3) サービスの質の向上

- ・ ユマニチュード研修の推進。動画研修も含め多くの職員が参画。
- ・ ご利用者アンケートによる満足度向上に向けた取り組み。
- ・ コロナ禍においての面会手法の検討と感染予防対策。
- ・ ひやりハット、クレームに対する可視化と対策の共有。

4) 人財の育成

- ・ 東京都キャリアパス導入促進事業活用によるアセッサー及びレベル認定者取得。
- ・ 基礎能力向上研修、指導能力向上研修（ニッソーネット）独自研修の実施。
研修修了者は今後講師として伝達研修を実施。
- ・ ZOOM 会議の促進による研修参加率の上昇。
- ・ 介護福祉士 6 名、介護支援専門員 4 名の合格。

3)

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第 1 位）

事業所名	定員（人）	令和 3 年度（%）	令和 2 年度（%）	令和元年度（%）
コーシャハイム向原	50	98.9	99.1	99.4
デイハウスむかいほら	27	78.4	82.7	83.5
デイハウス下落合	27	87.0	77.7	84.0
ショートステイ下落合	27	79.4	85.8	84.0
特養上石神井	40	96.0	96.3	61.9
ショートステイ上石神井	4	52.9	9.5	0.5

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	○お花見 ○七夕 ○長寿を祝う会 ○クリスマス会 ○正月 ○新年会 ○節分 ○お誕生会 ○行事食
エリア内研修状況	○身体拘束・虐待研修 ○ユマニチュード推進活動、ユマニチュード伝達研修 ○ストレスコーピング研修○事例検討会○新型コロナウイルス

	<p>感染症に関する研修会○接遇と感情コントロール研修 ○救命普及員講習○在宅医療と介護における新型コロナウイルス感染症への対応○基礎能力向上研修、指導能力向上研修（ニッソーネット）○「明るい介護」講演会 ○福祉用具活用研修○AED 研修○看取り研修(エンゼルケア、グリーンケア)○ケアプラン研修○身体拘束・虐待防止研修○排泄ケア研修○介護士の医療的知識研修○ユマニチュード研修○リーダー層研修○中途採用者研修○新卒採用者 1 年フォローアップ研修○接遇マナー研修○認知症ケア研修○入浴介助○食事介助・摂食・嚥下リハビリ研修○キャリアパス初任者コース・中堅職員コース○ハラスメント研修○メンタルヘルス研修○リスクマネジメント研修○感染症予防研修</p>
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<p>【月例会】 ○西東京エリア調整会議 ○下落合定例会議 ○上石神井定例会議 ○向原プロジェクト会議 ○サービス付き高齢者向け住宅定例会 ○介護管理者ミーティング ○住宅相談員会議 ○定期巡回訪問介護定例会 ○ステップアップ ○エルダー・研修検討係 ○安全衛生委員会 ○レストラン運営会議 ○ユニット会議</p> <p>【定例会】 ○苦情解決第三者委員会 ○広報委員会 ○介護研修会議 ○職員会議 ○デイハウス定例会 ○リーダー会議 ○おもてなし係 ○多世代交流係 ○栄養会議連携会議 ○レク・生活リハビリ・ボランティア係</p>
<p>委員会活動等の成果・実績・反省</p>	<p>省エネ省資源委員会 職場環境検討委員会通年参加 オンラインでの会議方式にも慣れ、スムーズに会議を進行できるようになった。しかし、オンライン方式では参加しやすい反面、参加者の意見交換が活発にはなりにくく、対面方式では意見交換が活発であるが、意見がまとまりにくい等の特徴がみえてきた。それぞれの良いところを活かすような進行を考える必要がある。</p>

6 人財状況

<p>外部研修等講師派遣実績</p>	
<p>外部役職就任状況</p>	

外部表彰受賞状況	
----------	--

7 地域貢献実績（保育所含む）

実習受け入れ実績 延人数 234 人	東京家政大学、東京通信大学、武蔵野大学別科、草苑保育専門学校、目白大学人、東京福祉大学、日本児童食おう育専門学校、立正短期大学
ボランティア受け入れ実績 延人数 109 人	傾聴、歌、体操教室、日常生活援助、保育補助、絵本読み聞かせ
見学受け入れ実績 実人数 229 人	利用希望者、入園希望者、学生 (住宅)加賀中学校生徒 4 名職場見学
地域交流活動実績 1 実施回数 9 回 延人数 189 人	認知症カフェ：寺子屋むかいほら、ZOOM 体験会、マルシェ、保育お楽しみ会、川柳授与式、板橋区 SDG s、阿川佐和子さん講演会「明るい介護」130 名
地域交流活動実績 2 実施回数 1 回 延人数 300 人	向原かけはし祭り
ボランティア・環境活動参加実績 1 投入人数 179 人	自治会主催消防訓練参加、板橋区危機管理情報伝達訓練 施設周囲の清掃活動
ボランティア・環境活動参加実績 2 投入人数 _____ 人	実績なし
地域発信活動実績 (介護、看護の日、イベント開催等)	上二中学校 SDG s 学習発表 練馬区施設長会主催「#FACT」への協力
地域発信活動実績(認知症サポーター養成講座)	認知症サポーター養成講座 コロナの為中止
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等)	第 2 層地域まちづくり「支え合い会議大谷口」参加 デジタル是正事業モデル会議参加 地域ケア会議参加